

ストーン文化フェスティバル

自然豊かな里山に、伝統ある石材製品・石のモニュメントなどを中心とした様々な造形作品を展示。

歴史と伝統文化に育まれたこの地域の文化振興につなげる祭典を開催。

桜川市開催事業

11月1日(土)～9日(日)、第23回国民文化祭・いばらき2008「常世の国こくぶん祭」が茨城県で開催されました。この国民文化祭は、昭和61年から、毎年、各都道府県持ち回りで行われているもので、全国で活動している文化・芸術の愛好者や団体が一堂に会して華やかなイベントが盛大に開催されます。

今回は「常世の国 筑波嶺翔ける 文化のいぶき」をテーマに、県内29市3町1村で12分野にわたる様々な主催事業が行われました。

桜川市では、多くの市民の皆様のご協力を得て、広域文化交流事業「ストーン文化フェスティバル」と「筑波嶺と万葉文化フェスティバル」が開催され、全国に桜川市の多彩な歴史・文化を発信する機会となりました。

筑波嶺と万葉文化フェスティバル

古より、万葉集などに詠われてきた筑波山周辺に残る様々な歴史・文化や万葉文化を題材にした芸術文化の創作活動を紹介し「西の富士、東の筑波」と称される筑波山の美しさをPRしました。



雨引の里と彫刻2008
大和地区で1996年から続く里山の景観と芸術のかかわりを楽しむ彫刻展。7回目となる今回も、たくさんの方が地図を片手に自由に作品を訪ね巡りました。



名勝桜川と幽玄の世界
岩瀬体育館(ラスカ)で、県内の能楽愛好者による「21世紀を担う茨城の能楽大会」とプロの能楽師による能「桜川」などの模範演能(写真)が披露されました。



石と土の造形フェスタ
国指定史跡「真壁城跡」や真壁地区の歴史的町並みに石燈籠や石製品を展示。また、桜川市の土を使った焼物「桜川焼」の展示・販売(写真)が行われました。



アースワーク土舞台・人形浄瑠璃2008
国指定史跡「真壁城跡」に、桜川焼研究会が桜川市の土で舞台を作成。その土舞台で、つくば市の自然生クラブと真壁白井座が「女夫松菟玖波」を上演(写真下)しました。また、2千本ののぼり旗や火縄銃演武(写真上)が戦国合戦絵巻を再現。会場を盛り上げました。



日本一の石のまち・石文化を訪ねる旅
市内の石匠工房(工場)や歴史的石造物などを巡るパスタツアー(写真)を開催。石材業者や伝統工芸士の方がガイドを勤めました。



筑波嶺に息づく伝統文化
筑波山を背にして真壁城跡に造られた土舞台で、市内に伝承されている民俗芸能「久原ひよっこ」(宮大杉囃子)「大曾根加波山囃子(写真)」が披露されました。



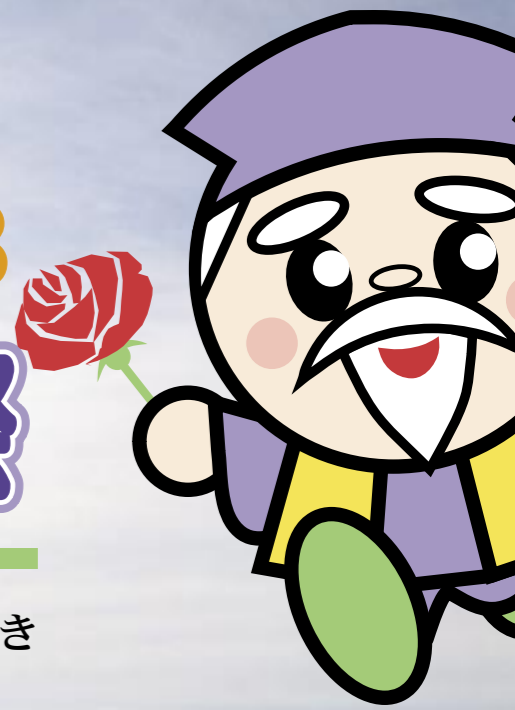
ストーンフェスティバル
全国屈指の石の産地として知られる桜川市・笠間市の石燈籠・墓石の展示販売(写真)と石の歴史や匠の技の紹介など、石の産業・文化を発信しました。(会場/笠間芸術の森公園)

第23回

国民文化祭・いばらき2008

常世の国こくぶん祭

とこよ 常世の国 つくばね 筑波嶺 か 翔ける 文化のいぶき



桜川市開催事業

- ・ストーン文化フェスティバル
- ・筑波嶺と万葉文化フェスティバル